



大分県医労連ニュース

大分県医療労働組合連合会（大分県医労連）

平成 22 年 2 月 22 日発行

〒874-0938 大分県別府市末広町 6-27 ミカドビル 2B

Tel 携帯：0977-23-7762（直通）0977-75-7556 Fax：0977-75-7560

E-mail：irouren3984@bloom.ocn.ne.jp ホームページ：<http://oita-irouren.net/>



2月3日

日出生台演習場に行ってきました！！



日出生台集会にて



日出生台監視にて

1月24日(日)、日出生台集会に大分健生病労組 13名、山本病労組 3名、宇佐病労組 2名、全医労 4名、顧問 2名、書記局 1名、計 25名が参加し、4年ぶり 7回目となる米海兵隊の実弾砲撃演習に対する抗議集会で集会決議をしてきました。また2月3日(水)日出生台演習場監視には、池田委員長はじめ全医労 4名、書記局 1名で監視に参加しました。日出生台の現状を知る機会でもあり、ちょうど「日本国憲法」を学んでいる小学6年の子供を連れての参加です。日出生台ローカルネットの浦田さん、平和委員会の遠入さんとたくさんの方々から日出生台演習場での現状、なぜ監視が必要か、米軍の事実、安保問題等々たくさんの事を教えていただきました。学校や教科書の中では学べない事を生の声で聞くことができ、とっても貴重な一日でした。今回の演習では異例・異常づくしの演習と聞いていますが、この日も「発煙弾」の発射で原野の火災を引き起こし何度もTVニュースになっていました。火災は今回2回も起き、明らかであるにも拘わらず「火災はなかった」と事実を隠すなど今後も監視が必要と実感しました。全期間中の射撃数：りゅう弾 529発、発煙弾 39発、照明弾 35発 総計 603発（日出生台現地情報・監視センターより）by RT

労働組合の歴史を振り返る

今回からシリーズでお送りします。当然ながら「今さら何?」と思われる方も多いとは思いますが、今だからこそもう一度原点に戻りみなさんと一緒に考えて頂けたらと思います。

労働組合とは、労働者が、賃金、労働時間をはじめあらゆる労働・生活の諸条件を維持、改善するために自主的かつ恒常的に結成した団体。

日本最初の労働組合はアメリカ力で近代的な労働組合運動を経験した高野房太郎さん、片山潜さんらによって1897年に結成されました。現在の企業別組合が発達したのは第二次世界大戦以降とあります。

過去の歴史を振り返ってもみても雇用環境の向上などの共通の要求に基づき労働者が自発的に団結し組織した団体であります。労働組合を組織する権利とし・団結権・団体行動権・団体交渉権があります。

日本国憲法第28条「勤労者の団結する権利及び団体交渉その他の団体行動をする権利はこれを保障する」と認められています。

いわば私たちは当たり前の事を当り前にやっていくことができないう事業所に対する正当な権利に基づき述べているものです。次回に続く...

労働組合の歴史を振り返る

